

穂北っ子

穂北小学校 学校だより
令和4年9月1日(木)
発行者:植野

参観日です!オープンスクール!



9月11日(日)は、2学期最初の参観日です!しかも、オープンスクールです。例年、オープンスクールは10月に実施され、PTAバザーと一緒に開催されてきました。しかし、昨年度、一昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いPTAバザーの方は開催されませんでした。本年度は、PTAバザーを規模縮小でも開催したいと考えておりましたが、やはりここ最近の爆発的な感染拡大の状況からオープンスクール(日曜参観日)だけの実施になりました。

日曜参観日ということで、普段お仕事で子どもたちの授業の様子や学校での様子をご覧になれない保護者の方に取りましては、子どもたちの学校での様子・授業の様子をご覧いただける機会になったのではと考えております。コロナ禍ではありますが、多くの保護者の方々に学校に来ていただき、自分のお子様の授業だけでなく、いろいろな学年の授業の様子も見ていただきたいと思います。

まだまだ暑さが抜けきらない時期ではありますが、マスク着用と職員玄関での手指消毒および検温のご協力をお願いいたします。また、発熱及び喉の痛みなどの症状がある場合には、参観をご遠慮いただきますようご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、宮崎県の感染者数が高止まりの状態であるなど、感染拡大の状況が続くような場合には、参観日を中止とする場合もありますので、予めご理解とご協力のほどお願い致します。

参観日日程

1校時 8:15~ 9:00	通常授業
2校時 9:10~ 9:55	
3校時 10:05~10:50	フリー参観 お子さまの授業を見ていただけるとありがたいです ※ 4校時…5年生は宿泊学習説明会 6年生は修学旅行説明会
4校時 11:00~11:45	

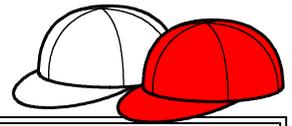
あいさつはコミュニケーションのスタート!

毎朝、6年生が正門や西門にたち、「早朝ボランティア:あいさつ運動」を行っています。子どもたちは、登校班ごとに整列して元気よく「おはようございます!」とあいさつをしてくれます。大変嬉しくなる光景です。

しかし、登校中に子どもたちの安全のために立ってくださる地域の方や近所の方々へのあいさつはどうでしょうか?当然元気よくあいさつをしてくれる子どもたちもいますが、恥ずかしいのかなかあいさつができない子どもたちもいるようです。

「あいさつ」はコミュニケーションの始まりと言われます。安全指導の方々や地域の方々に、そして友だち同士で元気よく「おはよう!」「いってきます!」「こんにちは!」等、あいさつがしっかりできるようになって欲しいと思っています。なかなか声が出ないときは、会釈でも十分あいさつ代わりになります。そのためにも、まずは家庭での「おはよう!」「いただきます!」「ごちそうさま!」「行ってきます!」「ただいま!」から始めてみるとういかもしれませんね!

赤団！白団！結団式まであと少し！



2学期が始まると同時に、運動会に向けた様々な活動が始まりました。例えば、6年生の各団の団長決め、4年生以上ではリーダーの決定や各係決めなどから始まり、走力調査を行った後に団決めなどを行っていきます。

6年生にとっては小学校生活最後の運動会、そして、1年生にとっては記念すべき最初の運動会です。1年生や6年生に限らず、運動会は全ての学年の子どもたちにとって、年に1回の大イベントです。この運動会が、135名の子どもたちにとって素晴らしい思い出になるようなものにしていきたいと考えています。

6年生にとって、団長になったり、リーダーになったりするのはあこがれだと思います。団長やリーダーになるために、朝のあいさつ運動やボランティア清掃に積極的に取り組んだり、授業中も積極的に発表したりするなど少しでもリーダーとして仲間を引っ張っていくことができるようにみんないろいろな分野で一生懸命頑張ってきたようです。

団長や副団長、リーダーだけでなく、各係に決まった子どもたちも自分が運動会でどのような仕事をしたいのかを考えて選んだそうです。つまり、運動会は全校児童で作り上げていくイベントです！全校児童が協力し合い運動会を盛り上げていくことができれば一番嬉しいです！！

頑張れ、穂北っ子！！

学習に集中できる環境を！

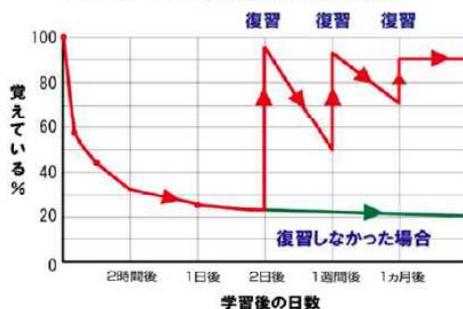


8月25日より2学期がスタートしました。2学期は、82日間と3学期の中で一番長い学期となり、学習内容も1学期の内容を更に深めていくものになってきます。

6年生は、1学期に「全国学力学習状況調査」にチャレンジしました。そして、12月には「ベネッセテスト」(1～4年・6年)「みやざき学力状況調査」(5年)があります。これらのテストは、現学年になっての学習内容の定着率を確認するためのものです。学校では、職員全員が各学年の実態を分析し、それをもとにどのような取組をして学習の定着を図っていくかを考える「学力向上プラン」を進めています。また、研究授業を行い、課題点などを確認しながら授業力の向上を目指しています。授業の中でも興味・関心を高めたり、定着を図ったりするために、タブレットを効果的に活用することで習熟のための時間を設けるなど、定着のための工夫にも取り組んでいます。

しかし、せっかく授業では理解していたのに、2～3日経つと忘れてたり、なかなか定着しなかったりするのとはなぜなのでしょう？そこには「家庭学習」が大きく関与していると言われています。

エビングハウスの忘却曲線と復習の関係



ドイツの心理学者「エビングハウス」が「忘却曲線と復習の関係」という研究で、学習した内容は1日で80%忘れてしまうが、その日のうちに復習をすれば、定着率を80%以上回復できると実証しています。つまり、学校で学んだことをその日のうちに復習することで、80%以上に内容を確実に定着させられると言うことです。逆を言えば、その日のうちに復習しないと定着率はどんどん下がってしまうということです。定着率を上げるためにも、復習は大切だということです。子どもたちがご家庭で学習をする際は、

学習に集中できるようにテレビを消したり、その時間は読書したりするなど、家庭学習の環境を作っていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

